

## 回復期リハビリテーション病棟での体重管理のあり方

渡邊 美鈴<sup>1)</sup> 高橋 百香<sup>1)</sup> 美原 盤<sup>2)</sup>

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 栄養科

2) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳神経内科

[目的]回復期リハビリテーション病棟(回復期リハ病棟)の現状と課題に関する調査報告書(2018/2)によると、低体重者の割合は回復期リハ病棟入棟時と比較して退棟時増加していることが報告されている。そこで今回、当院での現状を調査したので報告する。

[方法]平成29年4月から平成30年3月の回復期リハ病棟脳卒中退院者366名を対象とした。体格指数(BMI)25.1以上を減量群、20.1~25.0を維持群、20.0以下を増加群に分け、年齢、エネルギー充足率(提供エネルギー量/必要エネルギー量)、現体重1kgあたりのエネルギー量、BMI、機能的自立度評価(FIM)を比較した。

[結果]平均年齢は、減量群61.6±12.4歳、維持群70.9±13.4歳、増加群75.7±13.4歳( $p<0.01$ )。エネルギー充足率は、減量群入棟時87.3±9.5%、退棟時88.1±8.9%(n.s)、維持群93.3±11.7%、96.7±10.0%( $p<0.01$ )、増加群89.3±12.9%、98.4±9.6%( $p<0.01$ )。現体重1kgあたりのエネルギー量は、減量群入棟時22.0±3.3Kcal、退棟時22.6±3.0Kcal(n.s)、維持群27.8±4.1Kcal、28.6±3.3Kcal( $p<0.01$ )、増加群32.4±6.4Kcal、34.8±4.9Kcal( $p<0.01$ )。BMIは減量群入棟時27.0±2.6、退棟時26.5±2.5( $p<0.05$ )、維持群21.9±1.6、22.0±1.8kg/m<sup>2</sup>(n.s)、増加群17.8±1.9、18.2±2.3( $p<0.01$ )。FIMは、減量群入棟時85.4±27.8点、退棟時107.1±23.5点( $p<0.01$ )、維持群77.3±34.0点、92.9±33.6点( $p<0.01$ )、増加群60.5±35.5点、75.6±37.1点( $p<0.01$ )であった。

[考察]当院回復期リハ病棟での体重管理は、目標を達成するため喫食量と体重の推移を繰り返しモニタリングし適切に行われていた。その結果、FIM得点は向上し、患者の生活再建に貢献できたと思われる。